

魚津市自治振興会連合会第2回定例会 会議録

日 時 令和元年9月4日（水）午後6時～
場 所 魚津市役所大会議室
出席者 自治振興会連合会 米澤賢太郎会長、大崎勇副会長、伊藤甚幸副会長、
馬場均監事、大野聡一、柴垣尚一、松原勇、河口利春、
松田治之、水口富代明、野村博、関口斎、佐々木和允、
鹿本幸男、澤泉弘、亀沢俊幸、村上俊樹、鍋谷薫、
横田誠、高木宣行、伊田正一、池田克美
事務局 山本課長、小林課長代理、石浦係長、谷田主任、
上田主任、清水

1. 開会

米澤会長あいさつ

2. 各課からの依頼事項について

1) クマの出没等における対応について・・・資料1

浦崎係長 資料1を基に説明

- ・8月中旬に地域協働課から観音平にクマの痕跡情報をもらった。しかし、後日確認したところ現実にクマを目撃され、畑が荒らされるなどしていた。情報が、クマの足跡と出没とは全然違う情報だがどうなっているのか。
- ・まだ区長会というものは存在しているのか。
⇒地域で活動しています。
- ・地域振興会が自治会などのまとめ役をしている以上、このような情報は地域振興会を通してもらわないと、直接区長会に連絡されてはまずいと思います。だから魚津市有害鳥獣対策協議会に加積地域が加入していないことが起こったと思っている。
- ・先日、道下でクマが出た時も、近くのありそドームで会合があった。しかし、ありそドームでは自動ドアを切るなどの対策がされなかったもので、市から指導をお願いしたい。
- ・クマが山で出没しても、海沿いの人は無関心な人が多い。しかし、クマはどンドン平地に向かって降りてくるので、クマが出没したときは、山でも平地でも情報提供や対策は必要だと思う。あと連絡体制をしっかりとしてほしい。
- ・地域協働課が間に入って、各地域振興会を通して自治会長に連絡してもらおうなどしてもらわないといけないと思う。
- ・地域振興会長と自治会長に連絡してほしい。

地域ケア会議の結果について・・・資料2

明石係長、玉水主任、木下係長 資料2を基に説明

- ・今の説明では、地区社協が行っている事業を年3回ほど行うとのことでした。今後も、もっとぎっくばらんに意見交換ができる趣旨に沿った会議を行ってほしい。

避難行動要支援者にかかる個別域ケア会議の結果について・・・資料3

明石係長、木下係長 資料3を基に説明

- ・地区説明会の開催希望日の返答期限はいつまでに返事をすればいいか。
⇒遅くとも10月末までをお願いいたします。早めに返事をいただければと思っております。
- ・市の要支援者も対象にしていますか。
⇒市の要支援者は約6,300人の登録があります。この内、個別支援計画の作成を望まれた方が373名おられたということです。
- ・もっと多くの方がいると思いますが。
⇒今年始めたばかりなので、理解されていない方が多いと思います。来年度以降対象者をどんどん広げていきたいと考えています。
- ・特に支援が必要な方として1,127名が選ばれたと思います。しかし、プライバシーの関係で地区には名簿の提供ができない問題がある。
⇒この1,127名については、地区で見守りネットワークを行っている方がベースとなっています。ですので、地区の民生委員、福祉推進委員が把握されています。
- ・吉島地区では、地区社協と自主防災が把握し、毎年更新している。

3. 会議録の承認について・・・資料4

令和元年度第1回定例会の会議録について、ご確認いただき、訂正等があれば事務局まで連絡をお願いします。

4. 協議事項

1) 今後の地域振興について・・・資料5

事務局 資料5を基に視察研修まとめを説明

- ・今回の研修では、現状に至った経緯なども聞くことができ、大変参考になった。きりりよしじまネットワークの取組みの参考にして、地域でも進めることができると考えています。
- ・私の地区では、公民館の市民センター化を進めようとしています。市内全地区が一斉にセンター化しなくても、私の地区だけでも先んじて進めさせていただいてもいいと考えています。
- ・今回2つの点について注目して視察に参加しました。ひとつ目は、運営方法と人材育成についてでした。特に人材育成について、よしじまでは100万円の予算を使っていました。私の地区でも人材育成事業の予算化をしていきたい。ふたつ目は、どのような経過で指定管理に至ったかという点でした。山形県が作成した手順書も読んでいきましたので、その

経過がよくわかりました。当初、指定管理については、できる地区からとって思っていたのですが、今はすべての地区が歩調を合わせていかなくてはいけないと思っています。できれば市で、例えば3年計画を立てて、勉強し、地域の皆さんにも説明しながら進めていければいいと思います。

- ・会長の皆さんは、自分たちの地域を何とかしたいと考えています。そのような気持ちを持っておられますので、例えば指定管理をどのように進めていくか、自分たちの地域にどのように入れていくかを早急に進めていくことが大事と考えています。市の財政状況の圧迫化の問題もあります、ともに危機感を持っていると思いますので、一丸となって早急に進めていきたいと思っています。
- ・地域でネックになっているのは、若い人の参加がないことです。人材育成を先にやっけていかななくてはならないと思います。
- ・講師の高橋事務局長さんは大変熱意のある素晴らしい方でした。このような人が魚津に現れるのかどうか思いながら講義を受けてきました。我々はせいぜい3、5年先を見てまちづくりを進めていますが、よしじま地区は30年後の姿を夢見て取り組んでおられました。また、今後よしじま地区では「働き盛りの第二の青年団づくり」、「高齢でも元気な第三の青年団づくり」を進めようとしていました。年をとっても、青年という名前が付くと力が出てくるものです。名前は変わっても、正義感で動くような組織を作っていきたいし、作っていただきたい。
- ・よしじま地区は、5か年計画の基、事業を進めておられました。私の地区でもまちづくり計画を策定中であり、若い人にも多く出てきていただいております。今後このような若い人が活動していただくうえで、現在の公民館という枠の中では限界があるので、交流センター化や人材育成を進めていきたい。地域協働課と我々が中心となって、いずれは13地区すべての地区でなるべく5年以内にめどがつけばいいと考えています。
- ・いま一度、資料を熟読いただき、今後の会議等で議論していただきたい。

2) 公民館長との懇談会について

- ・館長会議では、ぜひ早いうちに振興会長と懇談したいとの要望がありました。
- ・事務局から提案はありますか。
⇒早い時期にということでしたので、9/24以降で皆さんの予定をお聞きし、調整したいと思いますがどうでしょうか。
- ・なるべく日にちに幅をとって調整してください。
⇒わかりました。議題については少し考えさせてください。
⇒最近の連合会の協議等から、指定管理やセンター化という方向に進んできていると考えています。そこでどういった形でできるのか、13地区一斉に行うとか、モデル的に行うとかいろいろな意見をいただいております。これらの意見を踏まえて、市の方向性をお示ししなければいけないと考えています。そこで、皆さんの地区のご意見を後日でもいいので教えていただき、勉強会を並行して進めながら、市から方向性を決めさせていただいた

い。

- ・指定管理やセンター化という方向に進んでいるとの話だったが、各地区での将来的な目標がはっきりしていないと思います。まずは各地区でじっくり話し合いをする必要があります。これに合わせて、市全体でどういった方向に進むのかを決めていくことが重要だと思います。
- ・勉強会はしていかななくてはいけない。
⇒各地区のご意見をお聞きしながら、例えばこういうことができるのならほかの地区でもどうだろうなど作り上げていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。
- ・社会教育の場である公民館から、これからは地域づくりや人づくりを包括的に進めていく場にしていかないといけないと思っています。そこで、指定管理、センター化したらどういったメリットがあり、自分たちがどういったまちづくりを進めなくてはいけないのかというところを、地域とともに考えていけるような方向で行かなくてはいけないと思います。
- ・今の魚津市の考え方、例えば財政状況が悪くなったことから指定管理料を減額するといったことが現実にあります。このようなことを考えると、皆さんがいろいろなことを聞いて、いろいろな事例をみて、自分ちも考えてどうしていくのか考えないと、なかなか難しいと思う。そのとっかかりが公民館長との懇談会になるかと思っております。
- ・射水市がセンター化しています。どのような経過で現状はどうかを調べてもらいたい。指定管理を受けたはいいけど、そのあと止めたとならないような指定管理制度にしていかないといけない。
- ・私たちも十分勉強して、地区の皆さんに十分な理解をしていただかないといけない。

3) 令和元年度まちづくりフォーラムについて・・・資料6

⇒日時・会場について、振興会行事がおおむね少ない2月のうちの、土日祝のいずれかの日に、新川文化ホール2階展示ホールを会場として開催してはと考えていますがどうでしょうか。(異議なし)

⇒開催日について、各振興会の都合を全地域にメールで照会させていただきます。会場内の動線等については、昨年度よりも良いものとなるように企画会議で協議していきます。

⇒基調講演については例年おおむね好評意見をいただいております、フォーラムの柱ではないかというご意見もあります。今年度もプログラムの1つとして行ってはと思いますがどうでしょうか。市が講師やテーマのセッティングを行うことと合わせ、ご意見を伺います。(異議なし)

⇒地域振興会による活動発表については、素晴らしかった、大変参考になったという意見を多数いただいた。発表は何年か続けてみるということで過去の企画会議でも話がまとまっていますが、全13地区の発表を2年間続けてみたこのタイミングで、そのやり方についてご意見を伺います。昨年度は各会5分を上限としていたが、もう少し余裕をもった時間設定が望ましいとのご意見が複数ありました。半分、3分の1の地域が発表を行い、

2～3年で全地域が発表できるような設定にしては？という具体的なご意見もいただいています。

- ・確かに5分で発表というのは厳しい。10分なり、15分なりあれば…。
- ・ただ、発表テーマを絞るなどして5分に収めるテクニックが大切だとも言えるし、毎年全地域が発表することで緊張感を持続させることも必要ではないかと考える。時間が足りないのであれば、基調講演を取りやめて、全地域の発表を行った上で専門家の具体的なアドバイスを求めるなどのやり方に変えても良いのでは。
- ・13地域だけではなく、学校や他団体にも発表してもらっては？
⇒その場合は、タイムスケジュール的にやはり基調講演を削らざるを得ないと思われます。
- ・何が目的のフォーラムなのか。
⇒現在まちづくりに取り組んでいる人はもちろん、そうでない人にも自治意識を深めてもらうことや、それぞれの取組みを共有することが目的です。
- ・別紙1を見ると、テーマをもう少し具体的にしても良いのではと思う。
- ・テーマを絞るのは良いと思う。人づくり、人材育成にどのように取り組むかなど。
- ・どんなテーマでも良いということにすると、格好をつけた内容や成功事例だけの発表になりがちになる。
⇒テーマを絞るかどうかは、9月19日の企画会議でも意見を聞いて決定したい。発表を全地域とするか一部地域とするか、いかがでしょう。会長方のご意見を伺います。
- ・6ないし7地域が10分ずつ発表し、2年で一巡するというので良いのでは。
⇒同意見の方は。（8名の会長が挙手）
- ・みんな熱意をもって発表内容を考えているのだから、やはり10分は必要。
- ・パネル展示をしてくれている団体にも、発表をしてもらっては。
- ・事務局から声掛けをして、手を挙げてくださった団体にはぜひ発表していただきたいと考えます。
- ・昨年度の意見を見ていると、参加者が非常に限定的であるように感じます。会場に来られなかった方へも開催内容のテレビ放映や、魚津市の取組みの情報公開が必要と思います。
⇒昨年度は広報誌、HP、NICE TV、公共施設での開催告知や結果の掲示等を行いました。今年度も継続するとともに、経常的な情報公開についてもつとめたい。先ほど過半数の会長に挙手いただいたことから、今年度は半分の地域に発表いただくこととします。
- ・発表する地域については希望を優先としては。
⇒年度によって発表したい事業、力を入れている事業も地区それぞれあると思います。言われるとおり挙手制とするのが望ましいと思います。地域と行政がともに取り組むフォーラムであるので、主体性を大切にしたりやり方を模索していきたい。
- ・基調講演は、理想的ではあるが実践できない内容である場合もある。時間が長いのでは？
⇒発表とパネル展示に重きを置くべきであるというご意見を踏まえた上で、全体的な時間構成を企画会議において事務局で提示したい。企画会議は9月19日、11月後半～12月

前半、フォーラム開催前に全3回開催する予定です。会議の内容は連合会定例会や会議録等で報告させていただくとともに、どうしても企画会議で決めかねる問題があった場合は、定例会等で諮らせていただく。企画会議に出席される方の役職はさまざまなので、あらかじめ地域の意向を共有していただけると助かります。また、講師謝礼や消耗品費等は連合会予算に計上いただいておりますが、チラシ印刷等も含め、支出させていただけるか改めて伺います。(異議なし)

⇒資料には掲載していないが、自治総合センターのシンポジウム助成に来年度のフォーラムを申請したいと考えています。市が単独主催であることと、必ずパネルディスカッションを行うことが補助条件です。全額補助で、補助上限は300万円。今のところ事業額250万円前後を想定しています。採択は県で1枠のため可能性は大きいとは言えませんが、申請してもよろしいでしょうか。(異議なし)

⇒結果が分かり次第ご報告します。

4) 地域まちづくり計画について

- ・今年2月から計画づくりを進めています。第1回を2月14日に開催し、地域コミュニティが減衰しつつあるのではないかなどの意見が出ました。7月6日に第2回を開催し、約60名の参加でまち歩きを行い、住民間で意見を交わしました。長期的な計画を基に行っていかなければ、地域の活性化はできないと思っております。今後は事業化に向けた話を詰めていきたい。
- ・5月から始まり8月26日までに全4回の会議を終えました。今後10～30年後を見越しての計画ということで、子供を含め60才以下の方を中心に集まっていただきました。若い方、中でも子供たちからは斬新な意見が多くありました。30名弱の方が全4回の会議に出ていただきました。
- ・平成26年に「上野方未来プロジェクト」を立ち上げて、20～50才代の方に地域の未来を考えていただきたいということで、現在は人の集まりを増やそうと活動をしてきました。しかし、若い人を育てていくという面では、この未来会議が大きなウェイトを占めると考えています。未来会議は10月からスタートする予定で進めており、現在出席者の希望調査をし、気持ちよく出席いただけるよう取り組んでいきたいと思っております。
- ・8月6日に約60名の方に参加いただき第1回未来会議を行いました。次回は9月8日に7つのテーマのもとまち歩きをする予定としています。9つのテーマがあり、大きな柱がありまして自然を活かしたまちづくりと若い方が中心となって行うイベントによるまちづくりがあります。先進地の西布施地区、上中島地区の計画も参考にさせていただきます。
- ・計画をどう地域の住民に知っていただくかが一番悩みました。参加者は各種団体の代表者に有識者加えに集まっていた。最終的にはいついつまでに誰が実行するのかというところまで決めていく予定です。そして、すぐに取り掛かれることは、来年から実行していきたい。計画については、12月に全戸配布したいと考えています。

⇒未来会議は、計画をつくることも大事なのですが、参加していただいた方がたくさんお

られますので、ぜひフォーラムに参加いただいて地域に新しい人材を定着させていってほしいと思います。各地域で行っている未来会議は見学も自由ですので、興味のある方は参加してください。

5. その他

1) 市長のタウンミーティングについて・・・資料7

9月13日までに希望日を企画政策課までにお知らせいただきたい。

現在行っている行財政改革についての説明もこの機会にさせていただきたいということもあり、このタウンミーティングが開催されます。伊藤さんに委員になっていただいている魚津市行財政改革推進委員会、2040会議や先日行われた説明会の議事録や資料はHPに掲載しておりますのでご覧いただき、もっとここが聞きたいというところがありましたらこの機会に、役員さんだけでなく多くの住民の方に出ていただけるような場にしていただきたいと思いますのでぜひお願いします。また、本日、昨日の魚津市行財政改革推進委員会の資料を地域に1部ずつ用意させていただきましたので、ご確認ください。

・まちづくり交付金の減額の話は出ていないということですか。

⇒このような状況の中で、まちづくり交付金だけが減額しないということは難しいと考えています。減額となった場合は、皆さんのご理解をお願いします。

2) 監事の欠員について

今年度、監事について1名で進める。来年度の総会で2名選出する。

3) 魚津市市民公開講座について

地域においてお知らせをお願いします。

4) 次回定例会の日程について

令和元年12月4日（水）午後5時30分～

・公民館長との懇談会の後、親睦会も一緒にしてはどうでしょうか。

⇒公民館長会議でも聞いてみます。

5) 地区運動会について

・皆さんの地区で、午前中に終わるところはありますか。

・グラウンドが使えない理由で、体育館で午前中行います。しかし、来年からは1日に戻します。

6. 閉会